

公民館だより なかがわ

第513号

令和7年8月1日

発行 中川地区公民館

TEL.Fax : 679-2501

参加者募集

【一般講座】

「スマホ教室」開催

まだ空
があります！

第2回 8月19日(火) 10:00~12:00

「スマートフォンの基本と ネット詐欺対策」

※デモ機を使っ
ての講習になり
ますが、お使
いのスマート
フォンの質問
の時間も設
けています。

これからスマートフォンを使いたい方も参加できます！

場 所：中川地区公民館 集会室

講 師：携帯電話会社講師

持ち物：お使いのスマートフォン

(どの会社のiphone/android どちらも可)

飲み物、必要な方は眼鏡

対 象：中川地区民 定員 20名まで

(定員になり次第受付終了)

参加費：無料



※何回も参加して
少しずつ覚えましょう！

中川地区ソフトボール大会

日 時：8月24日(日) 8:20 集合

場 所：中川地区公民館前広場

対 象：中川地区在住又は出身の中学生以上

参加料：無料

※詳しくは、地区回覧チラシをご覧ください！

中川地区シニア1泊研修会

日 時：9月4日(木) ~ 9月5日(金)

場 所：新潟方面(新発田城、清水園・足軽長屋など)

対 象：中川地区民

締切日：8月18日(月)

※詳しくは、地区回覧チラシをご覧ください！

中川地区少年少女球技大会 「グラウンド・ゴルフ大会」

日 時：9月20日(土) 9:00 集合

場 所：中川地区公民館 広場

対 象：中川地区の小学1年生~6年生

参加料：無料

※詳しくは、小学校配布チラシをご覧ください！

お申込み・お問合せ：中川地区公民館 (☎679-2501)

8月・9月 行事予定



8/1(金) 市報、館報、福祉村だより
三者会、会長会、公民館運営協議会
活動交付金交付式
白石上山線建設促進対策協議会
8/8(金) 防犯協会中川支部幹事会
8/19(火) 一般講座「スマホ教室」
8/22(金) 粋いき倶楽部(午後)
福祉村運動会準備会議
8/24(日) 中川地区ソフトボール大会
8/25(月) 上生居堀切永野開拓線建設同盟会総会
8/26(火) そば打ち愛好会
8/29(金) パソコンクラブ
防犯診断〈蔵王地区〉

9/1(月) 市報、館報
福祉村運動会全体会議
9/3(水) 粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)
三者会、森開公総会、会長会
9/4(木) ~5(金) 中川シニア1泊研修
9/9(火) ウォーキング教室(職員不在時間帯あり)
9/16(火) そば打ち愛好会
9/19(金) パソコンクラブ
文化産業まつり代表者会議
9/20(土) 少年少女球技大会「グラウンド・ゴルフ」
9/26(金) 一般講座「秋の寄せ植え教室」(午後)

休館日のお知らせ

8月12日(火)、13日(水)は休館日と
なります。ご不便おかけいたしますが、
よろしくお願いいたします。

グラウンド・ゴルフ愛好会(月曜日) 8/4、18、25
詩吟教室(火曜日) 8/5、19、26
ラージピンポン愛好会(木曜日) 8/7、14、21、28
スポーツ麻雀愛好会(木曜日) 8/7、14、21、28

中川地区さわやかコンサート！

7月5日（土）公民館主事部主催の「さわやかコンサート」が「山形県警察音楽隊」の演奏で開催され、多くの方に来ていただきました。1曲目の東京ディズニーランドのスプラッシュマウンテンのテーマ曲「ジッパ・ディー・ドゥー・ダー」で、カラーガード隊の笑顔あふれる演技に目を奪われました。大阪・関西万博テーマ曲「この地球（ほし）の続きを」やNHK連続テレビ小説「ブギウギ」で話題となった「ラッパと娘」、アニメ「推しの子」の「サインはB」など話題の曲がたくさん演奏されました。また、文部省唱歌「ふるさと」、森昌子「越冬つばめ」、坂本冬美「夜桜お七」など懐かしい曲も演奏され皆さん聞き入っていました。曲間には、詐欺についての講話があり、ニセ警察詐欺や今一番多い国際電話詐欺などについて注意喚起が行われました。最後にアンコールで、スキマスイッチ「全力少年」が演奏され、充実した素敵な時間を過ごすことができました。警察音楽隊の皆さん、ありがとうございました！！



中川地区会長会合同研修会

7月16日（水）～17日（木）、中川地区会長会合同研修会が行われ、11名の参加で岩手、秋田方面へ行ってきました。初日は、東北自動車道を使って岩手県に向かい、奥州市にある日本一大きい茅葺屋根のお寺として知られる大梅拈華山 圓通 正法寺を訪れました。南北朝時代に開創され、入口の惣門をはじめ、多くが国指定重要文化財となっている由緒ある古刹です。惣門前の石段でちょっとしたハプニングはありましたが、巨大な茅葺屋根の威容を誇る正法寺の外観に圧倒されたところです。

2日目は、秋田県の田沢湖に向かい、湖の畔に長子姫像を見た後、バス運転手お勤めの見晴らしの良い高台から田沢湖全体を見渡すことができました。高温ながら2日間とも天候に恵まれ、有意義な研修会となりました。



中川地区食生活改善推進協議会 笹巻作り反省会&研修会

今年も6月に笹巻宅配事業が開催され、食改とボランティア合わせて11名で笹巻作りに取り組みましたが、作り手が足りない為、毎年講習会を開催しています！男女問わず興味のある方、先人の知恵がつまった笹巻を来年は一緒に作ってみませんか？

また、7/2（水）～3（木）に笹巻作り反省会と研修会を兼ねて、遊佐町鳥海温泉游楽里に行ってきました。清流と緑あふれる鳥海山の麓遊佐町、まもなく海開きも始まる前の静かな日本海を見て、これぞ夏の海！自然と地元の美味しい海の幸を堪能し、ゆったり温泉に入って癒され、来年も頑張ろうと元気をもらえた研修会でした。

（文：中川食改会長 吉田）



ウォーキング教室

「たいらぐらコース」

7月25日（金）第4回ウォーキング教室は蔵王高原坊平の「たいらぐらコース」を歩いてきました！新設されたこのコースは高低差が少なくウッドチップや天然芝が中心で膝への負担を軽減できるため、体力に自信がない人でも無理なく楽しむことができます。風が気持ちよく、気温も低いため、涼しさを感じながらゆっくりと歩いていきました。走って練習しているアスリートの方々に声援を送りながら、和気あいあいと2.6 kmを楽しみました♪



第2回 粋いき倶楽部

6月27日(金)に第2回粋いき倶楽部の健康教室「ボウリング」が山形ファミリーボウルで行われました。齋藤館長の始球式から始まり、5チームに分かれてスタート!! 粋いき倶楽部の事業で年に1回しかボウリングをしていない方がほとんどですが、昔されていた方が多く、ハイスコア目指して素晴らしいプレーをしていました。「ガーターだけど楽しかった〜♪」「100 超えた〜♪」「楽しい〜♪」などの声がたくさん聞こえてきました。ボウリングの後は、「ゆず庵」にて美味しい昼食をいただき、充実した一日となりました。



第3回粋いき倶楽部 & 一般参加者グラウンド・ゴルフ大会

7月22日(火)、永野ふれあい広場にて、第3回粋いき倶楽部参加者と一般募集参加者合わせて29名でグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。広場は永野地区の方々よりきれいに整備していただき、本当にありがとうございます! この日は朝から暑かったため、こまめに水分補給をして熱中症に気をつけながら行われました。場所が変わっても皆さん絶好調で15名の方がホールインワンを出し、終始楽しくプレーすることができました。終了後は、希望者のみですが、お風呂で汗を流して、美味しい昼食をいただき、充実した1日となりました。



1位 鏡 清明 さん
2位 中川 賢治 さん
佐藤 吉光 さん

おめでとうございます!

1位 木村 笑子 さん
2位 鏡 洋子 さん
3位 山口 都多子 さん



中川地区夏の安全パレード

7月27日(日)「中川地区 夏の安全パレード」が行われ、防犯協会正副支部長、防犯連絡員、消防団第8分団、上山市市民生活課、地区会長会正副会長、警察署の方々に参加していただきました。また、出発式では1日警察官に委託された、中川小学校の児童(関原 杏さん、高橋咲華さん)が堂々と出発宣言をしてくれました。その後、上山市交通安全指導車や消防車等が中川地区全域を周り、安全で安心な中川を願い防犯・交通安全を呼びかけました。1日警察官の2人は、パレード中の呼びかけも担い「自分たちの地域は自分たちで守る」意識を持ち、立派に任務を遂行してくれました。ご協力いただきました関係者の皆様、暑い中ありがとうございました。



おしらせ

【 敬老会について 】

今年度も、対象者の方に敬老祝い品を贈呈いたします。敬老会対象者は数え80歳以上の方となっておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。
なお、敬老祝い品は、9月中旬頃に各地区会から対象者の方へ届けられる予定です。

おらほの中川へ地域の話題シリーズ 第二百二弾

「昭和考、問わず語り（その54）」

支那事変（日中戦争）は、日本軍が侵攻を続け、昭和十二年十二月には南京を陥落させます。しかし外国からの援助を受ける中国軍の反攻にあり、戦いは長期化していきます。

そんな戦況に対して近衛内閣は、強固な姿勢で対応します。本稿は、その状況について記述します。

〈戦争の長期化へ〉

開戦から四ヶ月で南京を陥落させたとき、メディアがこれを大々的に報じ、全国で提灯行列や祝賀行事が行われて、戦勝ムードに日本中が沸き返ったのは、誰もがこれで戦争に勝った、戦争は終わったと思っていたからです。

しかし、中国は屈しませんでした。蒋介石は、屈せず、奥地へ後退しながら戦線を広げていきます。日中戦争の長期化は、短期決戦で押したい日本と、アメリカとソ連の介入までどうにか戦線を維持し、アメリカの海軍力とソ連の陸軍力によって日本の軍事力の撃破を図りたい中国との、対照的な戦略ゆえに起こったことでした。（写真①は、中国軍を追撃する日本軍。昭和二年日の全記録」講談社刊より）

〈中国軍の強さの理由〉

中国軍が頑強であったのには、次の二つの理由があります。

一つは、「抗日意識の強さ」です。具体的には、中央政権の国民政府（主席・蒋介石）と中国共産党（政治局常務委員・毛沢東ほか）が「抗日」で一致し、ともに戦おうと手を結んだことが、その原動力となりました。

もう一つの理由は、蒋介石の主導で、ドイツをはじめとする国々からの軍需品の購入と顧問団の活躍がありました。また、共産党軍については、二十年代に起源をもつソ連からの資金や軍事顧問団の援助がありました。

実は、ドイツは中国に対する最大の兵器・武器供給国であり、また軍事的な援助を行っていた国なのです。第一次世界大戦での敗戦以降、巨額の賠償金不足に悩むドイツにとって、中国は常にドイツ製品を購入入してくれる気前のよい顧客でした。

また蒋介石の妻・宋美齢は、アメリカ人を空軍飛行士の訓練のため招聘していました。蒋介石は、これらの顧問団のアドバイスも活かし、上海周辺の頑強な陣地を時間をかけて構築していました。

〈国民政府を対手とせず〉

この戦争に対する日本側の認識は、当時の文書によると次のようなものでした。

近衛首相のフレイレンの一人は、この戦争について「一種の討匪戦」（匪賊を討つ戦い、匪賊とは、不法行為を働く悪人の集団や、略奪・殺人をほしいままにする賊徒を指す）と認識し、これを中国軍に対して使用しています。

また支那派遣軍の司令部は、「今次事件は戦争に非ずして報償なり。報償のための軍事行動は国際慣例の認めるところ」と文書に残しています。これは、日中戦争の前の時期、中国において国民政府の指導のもとに日本製品のボイコットが行われたことから、これを国際法違反として報償（損害賠償の償い、仕返し、報復）という語が使われています。

日中戦争開戦の四ヶ月後である十二年十一月末、ドイツを介して和平交渉が行われていました。南京陥落後動揺した蒋介石は、一旦和平交渉に応じる姿勢を見せましたが、日本国が示した条件は、満州国の正式承認、華北・内蒙・華中における非武装地帯設定、賠償金の支払いなど戦勝国としての一方的なもので、のむはすはありません。

また日本政府も南京を落とす意気が上っており、これで講和しようという態度は「連戦連勝の国」の側が示す態度ではないという意見が強く、結局日本側から交渉を打ち切りました。

そして開戦後五ヶ月後の十三年一月十六日発表された政府声明は、「帝國政府は爾後国民政府を対手とせずとした。この二ヶ月後、補足説明として「爾後国民政府を対手とせずと云ふは同政府の否認よりも強いものである。（中略）国民政府を否認すると共に之を抹殺せんとするものである」を發表しています。（加藤陽子著「とめられなかった戦争」文春文庫刊）

著者・加藤陽子氏は、陸海軍の参謀本部等は「講和を行うべき」との考えであったので、近衛内閣がいま少し妥協的であれば、成立していたかも知れないと論評しています。

甲石地区 高橋 正之

〈甲石地区に残る戦争の遺産〉

甲石地区会では、七月と十二月に別雷神社の例祭を執り行います。

この祭礼準備で神社内の清掃をしていたとき、神社拝殿に写真②の「榎入れ」が収納されているのを見つけました。「奉納 上海出征凱旋記念」昭和七年五月二十五日木村」との記名がありました。

この時期の上海出征は、満州事変の最中の昭和七年一月に日華両国の武力紛争が上海に飛び火し、両軍の戦闘が発生した第一次上海事変の出征とみられます。この事変は、約二ヶ月後に英国の仲介により停戦したとされていますが、同事変に伴い当地の兵士が出征しその凱旋を祝ったものと思われる。この地にも日中戦争の波紋が及んだことを物語っている遺産です。

（次回は、支那事変（日中戦争）の拡大状況と南京市民大量虐殺事件などについて記述する予定です。）



（写真①）



（写真②）